

平成27年第2回定例会
(会期 6月12日～7月2日)

6

月12日から第2回定例会が開かれ、今定例会

には一般会計補正予算など15議案と報告6件が上程されました。表決では14議案を可決、豊後大野市オンブズマン条例の制定は賛成少数で否決しました。

また、請願2件をそれぞれ採択し、議員発議による意見書2件と豊後大野市議会会議規則の一部改正をそれぞれ可決しました。

19日と22日には、一般質問が行われ、執行部と活発な論戦を展開しました。

今定例会には、延べ46人の方々が傍聴に訪れました。

平成27年度 一般会計補正予算(第1号)

8886万8千円



《一般会計予算総額》

245億886万8千円

主な事業

地域公共交通活性化事業



411万2千円 追加

朝地町のバス停設置箇所増加による追加補正など。

市道維持管理事業



5千万円 追加

今後の災害対応などに備えて、市道維持補修工事の増。

地域コミュニティ支援事業

1750万円 追加

豊後大野市オンブズマン条例の制定

オンブズマン条例の制定を賛成少数で否決

【提案理由】

市 民の市政に関する苦情を公正かつ中立的な立場で速やかに処理する機関として、オンブズマンを設置するものです。

【本会議での質疑】

質疑 設置している自治体数と自治体の規模は。

【答弁】

県では全国で4団体、市区町村では全国で23団体です。自治体規模では、市でも人口規模の大きい団体は北海道札幌市の191万人、次いで神奈川県川崎市の142万人、最も少ないのが東京都清瀬市の7万4千人で、清瀬市を除いて全ての団体が人口10万人以上の市です。

【質疑】

市役所に対して市民からの苦情がどの程度あるか。

【答弁】

市に対する苦情は非常に多いです。把握方法としては、それぞれ原課で受け付ける場合、総務課で受け付ける場合があります。原課で受け付けた苦情の件数は把握できていないのが現状です。メールやみなの意見箱は平成24年度に33件、平成25年度に29件、平成26年度に49件となっています。

【質疑】

年間予算の見込みは。

【答弁】

年間予算になると350万円程度になると考えます。

【本会議での討論】

市民の代表としての意見賛成討論

オンブズマン条例は、豊後大野市まちづくり基本条例の趣旨に基づくもので、豊後大野市自治推進委員会で、昨年の公的オンブズマンの設置を望む答申書が提出されている。これは市民の代表としての意見であり、尊重すべきであると考えます。

費用対効果はあるか 反対討論

自治推進委員会の会議録を読むと、委員の中から自然発生的にオンブズマン制度の必要性が持ち上がったわけではなく、行政側からあらかじめ用意したものを提案した上で協議

されているようである。制度化した27団体のうち、26団体が人口10万人以上である。制度導入したものの現在はまだに廃止した自治体では、原因として費用対効果がない、クレームをつける人が決まってくる、7割が職員に対する態度の指摘や、行政改善の成果がないなどがあげられている。年間350万円だけの費用対効果があるのか。

現在ある制度を充実活用すれば、貴重な税金を使ってまでして、新たな制度を設ける必要性はないと考える。

せる町づくりこそ行政であり、市民が安心して暮らせる仕組みづくりを行うのが役所である。

恣意的運用の恐れ 反対討論

公的オンブズマンは公権力の代理人が公権力を監視するという背理に立脚する制度であり、多くを期待することはできない。本条例の公的オンブズマンも行政が設置するものであり、恣意的に運用される恐れがある。

安心して暮らせるために 賛成討論

350万円かかろうと市民が安心して暮ら